

こんにちは！

市民病院です！

福豆はいくつ食べますか？



加東市民病院
小児科部長
石原重彦



2月3日(水)は節分です。節分の日の食べ物といえば、以前は鰯と言われていましたが、最近では、丸かぶりをする恵方巻が一般的になってきているようです。一方で『福は内、鬼は外』と豆まきをした後の大豆(福豆)は昔も今も食べられています。

ところで、みなさんは福豆を何粒食べていますか。

この頃はやさしいママやパパ、そしてばあやじいじの中には、可愛い子や孫に、好きな食べ物を欲しがるとだけ与える方がいるようですが、そ

こに大きな落とし穴が潜んでいます。

両親のどちらかがアレルギー体質である場合、そのお子さんはアレルギーを生じる可能性があります。卵や牛乳、大豆などだけではなく、果物や野菜も、食べすぎるとアレルギーの原因になるのです。

毎日キウイを2個食べていた1歳の男の子は、4回目のキウイ摂取の直後、全身にじんましんを生じました。また、離乳食にトマト半分を毎日食べていた男の子は、1歳過ぎにトマトアレルギーになり、バナナ本を毎日食べていた女の子は、バナナアレルギーにな

っていることが診断されました。これらは、食物を十分に消化することができない年齢で、消化されずに体内に入ったたんぱく質を、お子さんの体が異物と認識した結果、アレルギー反応を生じることが原因であると考えられています。

『福豆は歳の数だけ』は、

節分を年の区切りとし、健康を願って、数え歳の数だけ福豆を食べるという風習ですが、「欲しがるからといって、たくさん食べさせてはいけない」という昔の人の知恵だったのかもしれない。

同じように、好きだからといって、まだ幼い子や孫に与えているのが生肉ではないでしょうか。以前、牛の生レバーやユッケで、多くの患者が発生した病原性大腸菌による腸炎は、生レバー等の販売が制限されたことにより、減ってきています。しかし、主に鶏の生肉が原因と思われる腸炎は、まだ後を絶ちません。原因は、カンピロバクターという細菌です。

38℃前後の発熱や腹痛とともに、水のような下痢で苦しむ子が、時々病院に来ます。

詳しく話を聞くと、数日前に親御さんたちが食べていた鶏肉の刺身やたたきを一緒に食べたという事実が見つかります。もちろん、保護者には何も症状はありませんが、食物を十分に消化することができない、そして抵抗力もまだ十分でない幼児や学童で多く見られる病気です。

また、鶏肉の調理を手伝っ

た女の子が、カンピロバクターによる腸炎になったこともありましたが、鶏の生肉に付いていた細菌が、手から口に入ったのでしょうか。このカンピロバクター腸炎は、多くの場合、数日で治りは、多くの場合、数日で治り



ます。しかし、まれですが、しばらくして運動神経が侵され、四肢に力が入らなくなるギラン・バレー症候群という難病になることがあります。そうになると、悔やんでも悔やみきれません。

楽しいはずの食事が原因で、こどもたちが病気に苦しむことがないよう、わたしたちまわりのおとなたちが、気を付けてあげたいものです。

あなたも挑戦！ 献血クイズ

献血にご協力お願いします。



Q1. 200ml 献血は何歳からできる？

①16歳 ②18歳 ③20歳

毎年2月に加東市民病院にも献血バスがやってきます。

Q2. 献血できるのは何歳まで？

①60歳 ②64歳 ③制限なし

今年は2月2日(火)
10時30分～16時

Q3. 血液製剤が不足(献血者が減少)するのはいつ？

①夏 ②秋 ③冬

- A1. ①16歳……男女とも200ml献血は16歳から。400ml献血は男性17歳、女性18歳から。
- A2. ②64歳……65歳以上の方でも60～64歳の間に献血経験がある方は69歳まで献血可能。
- A3. ③冬……風邪など体調を崩す方が多いことや、学校や企業、団体などの協力が得られにくくなるため。

問い合わせ

加東市民病院

42・5511